

2017年01月06日

パナソニックが米・産業用レーザーメーカー「テラダイオード社」の 全株式を取得

～ダイレクトダイオードレーザ技術を取り込み、レーザ加工事業を強化～

パナソニック株式会社(以下、パナソニック)は、産業向け高出力ダイレクトダイオードレーザ(以下、DDL)の世界的サプライヤーであるテラダイオード社(本社:米国マサチューセッツ州、CEO:パービッツ・タエバティ、以下、TDI)の全株式を取得する契約を、2017年1月2日付(米国時間)で締結しました。

近年、自動車産業などでは「軽量化」「高剛性化」「デザイン自由度向上」「生産性向上」などを背景に、高精度で高品質なレーザ加工技術への期待が大きく高まっています。TDIが保有する波長合成技術を用いた高出力DDLは、これらの要求に応える次世代レーザとして注目されています。

パナソニックとTDIは、このような市場動向にいち早く対応し、2013年に協業を開始しました。2014年には、協業の成果として、TDIの高出力DDLを搭載した世界初のレーザ溶接ロボットシステム「LAPRISS」の販売を開始しました。また、同年、パナソニックはTDIよりアジア圏主要国における溶接用DDLの独占販売権を取得し、両社は開発、製造、販売、サービスなど広範な領域で協力し、DDLの普及、促進を図ってきました。そのような中、パナソニックのレーザ加工事業をこれまで以上に成長させるためには、基幹技術であるTDIのDDL技術、ノウハウの獲得が不可欠との認識に至り、両社で協議を重ねた結果、パナソニックがTDIを完全子会社化することで合意しました。

パナソニックとTDIは、今後の成長市場であるレーザ加工分野において、両社一体となってDDL技術のさらなる進化を図るとともに、レーザ加工事業をファクトリーソリューション事業における新たな柱として拡大し、パナソニックのB2B事業の成長を加速させてまいります。

【テラダイオード社の会社概要】

社名	TeraDiode, Inc.
代表者(CEO)	Parviz Tayebati (パービッツ・タエバティ)
本社所在地	米国 マサチューセッツ州 ウィルミントン
事業内容	一般産業向けレーザの開発、製造、販売
資本金	51.8百万USDドル
設立	2009年8月

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。